

第8章 計画の進捗管理

1 目標値

・本計画に基づく施策の効果を把握するために、誘導方針等を踏まえて次の目標を設定します。

表9 評価指標と目標値 (1/2)

	区分	指標	基準値	中間値 (R7)	目標値 (R12)	
誘導方針に関する目標値	各都市拠点の役割に応じた機能の集積を維持・増加する	都市機能誘導区域内の誘導施設数	2次医療機関	1施設	維持	維持
		休日夜間診療所	1施設	維持	維持	
		病院(20床以上)	3施設	維持	維持	
		大規模小売店舗	11施設	維持	維持	
		銀行・郵便局	23施設	維持	維持	
		多世代交流施設	1施設	維持	維持	
		高等教育機関	1施設	維持	維持	
		図書館	3施設	維持	維持	
		鉄道駅	6施設	7施設	維持	
	安全で暮らしやすいエリアに居住者を集める	可住地人口密度(居住誘導区域内)	中心市街地	54人/ha (H27)	55人/ha	55人/ha
佐和駅周辺			54人/ha (H27)	51人/ha	50人/ha	
那珂湊駅周辺			54人/ha (H27)	51人/ha	50人/ha	
ひたちなか地区周辺			25人/ha (H27)	35人/ha	40人/ha	
居住誘導区域全体			52人/ha (H27)	52人/ha	52人/ha	
土地区画整理事業全施行地区の進捗率(都市計画道路, 区画道路, 家屋移転)		58.2% (R2)	71.7%	88.0%		
鉄道, バスの基幹軸のサービス水準を強化する	ひたちなか海浜鉄道湊線の年間利用者数	1,060,158人 (R1)	1,436,000人	1,368,000人		
	スマイルあおぞらバスの年間利用者数	198,582人 (R1)	216,000人	227,400人		
期待される目標効果に	多世代間が交流する機会が増加する	市を好きと感じる中学生の割合	69.9% (R1)	72.9%	75.4%	
		子育て支援・多世代交流施設「ふぁみりこらぼ」の登録団体数	416団体 (R1)	476団体	526団体	
	まちの活力が高まる	空き店舗チャレンジショップ事業による出店件数(延べ)	39件 (R2)	54件	69件	
		支援事業を通じて創業した事業所件数(期間累計)	42件 (R2)	72件	102件	

表 10 評価指標と目標値 (2/2)

	区分	指標	基準値	中間値 (R7)	目標値 (R12)	
防災まちづくりの取組 方針に関する目標値	災害リスクの 低減	避難所等の防災倉庫における防災備蓄量=食料備蓄量/(想定避難者数×3食×1日)×100	99.3% (R2)	100%	100%	
		一級河川大川改修事業(河川改修率※) ※那珂川圏域河川整備計画(茨城県)による	68.9% (R2)	100%	100%	
		中丸川流域の浸水被害軽減等の状況	—	平成 28 年 8 月降雨と同規模の降雨に対して, 床上浸水被害の概ねの解消, 家屋浸水被害の防止・軽減, 道路冠水による通行止め箇所の減少		
		要配慮者利用施設の避難確保計画策定率	83.3%	100%	100%	

2 評価・見直し

- ・本計画は、計画策定の令和3年度から令和12年度の10年間を計画期間とし、5年目の令和7年度に目標値の達成度を確認し、必要に応じて誘導区域、誘導施策等を見直します。10年目の令和12年度には、計画全体の見直しを行うこととします。
- ・なお、上位計画の改定等により目指すべき将来像や都市構造が変化する場合や、不測の災害・事故等により土地利用や都市施設の配置そのものが大きく見直される場合は、適宜計画を見直すこととします。